

# 奈良県骨粗症検診実施要領

## 1. 目的

骨粗鬆症は骨折等の基礎疾患となり、高齢社会の進展によりその増加が予想されることから、早期に骨量減少者を発見し、骨粗鬆症を予防することを目的とする。

## 2. 対象者

当該市町村の区域内に居住地を有する40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、及び70歳の女性を対象とする。

## 3. 実施回数

健康診査は原則として同一人について年1回行う。

## 4. 実施についての基本的事項

### (1) 検診の実施

検診の項目は問診及び骨量測定とする。

#### ア 問診

運動習慣、食生活の内容等を聴取する。

#### イ 骨量測定

CXD法、DIP法、SXA法、DXA法、pQCT法又は超音波法等により実施する。

### (2) 検診結果の判定

「骨粗鬆症予防マニュアル」（厚生労働省）に基づき、「異常なし」、「要指導」及び「要精検」に区分する。

## 「骨粗鬆症予防マニュアル」抜粋

### 第4章 骨粗鬆症検診

#### 6. スクリーニングのための判定基準と精密検査や指導を要する者の選定

- ・骨粗鬆症あるいは低骨量者の判定基準は、個々の年齢を考慮せずどの年代でも同一の規準とするのが基本である。
- ・この概念は、骨量から見た骨折発生のリスクは年齢を問わず一律であるとの考え方から成り立っており、先にWHOが提唱した骨粗鬆症の診断基準もこの概念に基づいている。
- ・わが国の原発性骨粗鬆症診断基準もこれを踏襲し、年齢を問わず若年女性の平均骨量（YAM）の70%未満が骨粗鬆症、70～80%が骨量減少と定義されている。
- ・したがって、スクリーニングのための判定基準も年齢を問わず一律の規準とし、かつその判定基準値は日本骨代謝学会によって提唱された原発性骨粗鬆症診断基準に掲載されている骨量値をもとに設定するのが妥当である。（中略）

(1) 精密検査を要する者（要精検）

測定値が、原発性骨粗鬆症診断基準でいう若年女性の平均骨量（YAM）の80%未満（いわゆる骨量減少（osteopenia））の者。

(2) 指導を要する者（要指導）

測定値が、若年女性の平均骨量（YAM）の80%以上90%未満である者。

YAMの90%以上の者で骨粗鬆症の危険因子を有する者。

(3) 異常なし

測定値が、若年女性の平均骨量（YAM）の90%以上で骨粗鬆症の危険因子を有さない者。

表 2-1 骨粗鬆症の危険因子

除去しえない危険因子	除去しうる危険因子
加齢	カルシウム不足
性（女性）	ビタミンD不足
人種（白人＞黄色人種・黒人）	ビタミンK不足
家族歴	リンの過剰摂取
遅い初経	食塩の過剰摂取
早期閉経	極端な食事制限（ダイエット）
過去の骨折	運動不足
	日照不足
	喫煙
	過度の飲酒
	大量のコーヒー

(3) 指導区分等

それぞれの指導区分につき、次の内容の指導を行う。

ア. 「要指導」と区分された者

食生活指導や運動指導等日常生活上の注意を促すとともに、生活習慣行動の改善指導等の保健事業への参加を指導する。

イ. 「要精検」と区分された者

医療機関において精密検査を受診するよう指導する。ただし、精密検査の必要性については、骨量測定結果のみならず、家族歴等個々の危険因子（骨粗鬆症予防マニュアル表 2-1 参照）を考慮して判断するものとする。

5. 結果の通知

検診結果については、指導区分を付し、受診者に速やかに通知する。

## 6. 報 告

市町村は、骨粗鬆症検診結果報告書を作成し保健所経由の上、県（健康推進課）へ毎年7月末日までに報告する。

## 7. 記録の整備

検診の記録は、氏名、年齢、住所、検診の結果並びに指導、精密検査の必要性の有無等を記録する。また、必要に応じ、治療の状況や事後の指導その他必要な事項についても記録する。

## 8. 機器の精度管理

個々の機器の精度管理は、マニュアルどおりに日々行われる必要がある。なお、基準値はDXA法、SXA法に関しては、同一機種各機器間誤差はせいぜい1%程度であるといわれている。また、MD法は撮影条件により、超音波法は室温の変化により、値に違いが生じることが考えられるため、定期的に機器メーカーに校正を依頼するなどして機器の安定性を検討することが望ましい。

## 9. その他の留意事項

骨粗鬆症検診は、疾病の発見のみならず、検診の実施により健康自立への意識を高揚させ、実践へ結びつけることにより快適な高齢期を迎えることを目的とするものであることから、健康教育、健康相談及び訪問指導等他の保健事業と有機的な連携を図ることにより、適切な指導等が継続して行われるよう配慮する。

集団健康教育における骨粗鬆症（転倒予防）健康教育及び重点健康相談において個人の食生活、運動その他の生活習慣を勘案して行う相談指導などとともに、広く住民に骨粗鬆症の予防を教育することも重要である。

## 10. 個人情報の保護

この検診により業務を担当したすべての関係者は、「個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日 法律第57号）」等の関係法令及び「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン（平成16年12月24日 厚生労働省）」等に留意し、検査結果の取扱い等の秘密保持に努めなければならない。

（附 則）

この要領は平成14年4月1日より施行する。

（附 則）

この要領は平成17年4月1日より施行する。

（附 則）

この要領は平成30年4月1日より施行する。

## 骨粗鬆症検診問診票（例）

氏名 \_\_\_\_\_ 生年月日 昭和 年 月 日 年齢 歳

住所 \_\_\_\_\_ 身長 cm 体重 kg

- 1 初経（月経開始）年齢は何歳ですか。 \_\_\_\_\_ 歳
- 2 定期的に月経がありますか。  
①ほぼ順調にある      ②不規則にある      ③ない  
「ない」と答えた方にうかがいます。その理由は、次のどれですか。  
①閉経 \_\_\_\_\_ 歳      ②妊娠中      ③授乳中  
④子宮切除 \_\_\_\_\_ 歳      ⑤卵巣切除（両方 片方） \_\_\_\_\_ 歳
- 3 出産経験がありますか。      ①はい（      回）      ②いいえ
- 4 授乳経験がありますか。      ①はい（      回）      ②いいえ
- 5 次のうち過去に治療を受けた病気や現在治療中の病気がありますか。  
①高血圧      ②高脂血症      ③糖尿病      ④腎臓病      ⑤肝臓病  
⑥胃腸の手術 \_\_\_\_\_ 歳      ⑦甲状腺疾患      ⑧不妊症      ⑨婦人科系疾患（不妊症以外）  
⑩骨粗鬆症      ⑪その他
- 6 転倒や些細なことで骨折したことがありますか。  
①はい      ②いいえ  
「はい」と答えた方にうかがいます。  
骨折部位はどこですか。      ①背骨      ②足      ③腕      ④手の指      ⑤その他
- 7 現在腰痛はありますか。  
(1)安静時      ①痛みなし      ②少し痛む      ③強い痛み  
(2)運動時      ①痛みなし      ②少し痛む      ③強い痛み
- 8 両親、兄弟で骨のカルシウムが少ないといわれたり、大腿骨や腰の骨の骨折を起こした人がいますか。  
①はい      ②実母      ③実父      ④姉妹      ⑤兄弟      (2)いいえ
- 9 仕事や通勤、家事などで1日に歩く時間はどのくらいですか。  
①30分未満      ②30分以上1時間未満      ③1時間以上
- 10 現在（最近1年以内）定期的に行っている運動がありますか。  
①はい      ②いいえ  
「はい」と答えた方にうかがいます。その運動は何ですか。  
種目 \_\_\_\_\_ 1回      時間 \_\_\_\_\_ 週に \_\_\_\_\_ 回

11 10代、20代に定期的に行っていた運動はありますか。

- ①はい      ②いいえ

「はい」と答えた方にうかがいます。その運動は何ですか。

種目 \_\_\_\_\_ 年間 \_\_\_\_\_

12 たばこを吸いますか。

- ①1日20本以上      ②1日1～19本      ③過去吸っていたが現在は吸わない  
④以前から吸わない

13 アルコール類を飲みますか。

- ①ほぼ毎日飲む      ②週3～6回      ③週1～2回      ④ほとんど飲まない

14 小中校生の頃、牛乳を飲みましたか。

- ①毎日飲んだ      ②週3～6回      ③週1～2回      ④ほとんど飲まなかった

15 現在、次のものをどのくらい飲んだりたべますか。

- (1)牛乳 ①毎日飲む ②週3～6回 ③週1～2回 ④ほとんど飲まない

(1日に飲む量は \_\_\_\_\_ mlくらい)

(2)チーズ、ヨーグルト等の乳製品

- ①毎日食べる      ②週3～6回      ③週1～2回      ④ほとんど食べない

(3)豆腐や大豆製品

- ①毎日食べる      ②週3～6回      ③週1～2回      ④ほとんど食べない

(4)丸ごと食べられる小魚

- ①毎日食べる      ②週3～6回      ③週1～2回      ④ほとんど食べない

(5)肉 ①毎日食べる      ②週3～6回      ③週1～2回      ④ほとんど食べない

(6)魚 ①毎日食べる      ②週3～6回      ③週1～2回      ④ほとんど食べない

(7)色の濃い野菜

- ①毎日食べる      ②週3～6回      ③週1～2回      ④ほとんど食べない

(8)カルシウム剤またはカルシウム入りの健康食品

- ①毎日食べる      ②週3～6回      ③週1～2回      ④ほとんど食べない

16 これまでに食事の量を2/3以下に減らすようなダイエットをしたことがありますか。

- ①はい ( \_\_\_\_\_ 回)      ②いいえ

## 骨粗鬆症検診結果報告書

	受診者数計	異常なし	要指導者数	要精検者数	精検受診者数
40歳					
45歳					
50歳					
55歳					
60歳					
65歳					
70歳					
計					

検診機器の種類	CXD法 DIP法 SXA法 DXA法 P Q C T法 超音波法 他 (                      )  機種名
---------	--

### 検診機器の判定区分基準値

	異常なし	要指導	要精検
基準値			